

季節の花便り

コッキー



ちゃぼっと!まるっと!もこもこ コキア



モスモス

みはらしの丘 “コキア” 順調に生育中!



平成 20 年 8 月 16 日撮影

謹啓 残暑の候 皆様方にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

初夏、青いネモフィラが一面に広がり、たくさんのお客様にお楽しみいただいた「みはらしの丘」で、現在、「紅葉する草“コキア”」40,000株が順調に生育していますのでご案内いたします。

今年の6月下旬から7月上旬にかけて植え付けたコキアの苗は、夏の暑い日差しにも負けず元気に成長し、現在、約60～80cmになっています。この“ちゃぼっ”と“まるっ”とした姿、また、触れると意外にもやわらかい手触りは、思わず抱きしめたくなるほどの愛らしさ。そんなコキアが丘一面で気持ち良さそうに海風に揺れる様を見ていると、自然と笑みがこぼれてしまいます。

緑色のコキアの見頃は9月下旬頃までを見込んでおりますので、皆様もみはらしの丘でコキアを優しく抱きしめて、この感覚をぜひ体感してみてください。

また、紅く色づき始めるのは9月下旬頃からで、4万株の“もこもこコキア”の大集合と丘のふもとを流れるような300万本の“コスモス銀河”はオンリーワンの景観です。どうぞご期待ください。

つきましては、皆様には御多忙中のことと存じますが、取材並びに記事掲載の程よろしくお願い申し上げます。

謹白

### お問い合わせ先

〒312-0012 茨城県ひたちなか市馬渡字大沼605-4  
ひたち公園管理センター企画課 穂積・田中・森下  
電話(029)265-9005 FAX(029)265-9339  
お客様問い合わせ電話番号(029)265-9001  
ホームページ <http://www.ktr.mlit.go.jp/kaihin>

緑：7月上旬～9月下旬  
紅葉：9月下旬～10月下旬

# コキア

アカザ科ホウキギ属  
原産：南ヨーロッパ(中国から渡来)



## 【コキア豆知識】

コキアは、和名をほうき草と言ひ、その名のとおり、枝や茎を乾燥させてほうきを作ることに由来します。実は「とんぶり」と呼ばれ、食用になります。形や色、歯ざわりがキャビアに似ていることから、“畑のキャビア”、“日本のキャビア”とも呼ばれています。名産地は秋田で、和え物や酢の物などに使われます。

## 【ひたち海浜公園のコキア】

場所：みはらしの丘 最寄口は海浜口  
面積：20,000 m<sup>2</sup>  
株数：40,000 株  
時期：緑の見頃は7月上旬～9月下旬  
紅葉は9月下旬～10月下旬  
植栽は、ポット苗で6月下旬～7月上旬に実施。

ひたち海浜公園では、秋の新たな景観創出を目指し、「松林が中心の紅葉する木が少ない園内において、季節の移ろいを草木の色づきに感じていただく」と、紅葉する草であるコキアに注目。

平成17年度からみはらしの丘の東側斜面5,000 m<sup>2</sup>に4,500株を試験的に導入しました。

2年間の試験植栽を経て、本公園の環境がコキアの生育に適していることを確認し、昨年本格的に植栽。今年は、20,000 m<sup>2</sup>に40,000株のコキアを植え付けました。



平成19年10月24日撮影



平成20年8月11日撮影

平成20年8月18日現在の状況



まるまると順調に生育中

# 【紅葉する草“コキア”の魅力】

## 形の可愛らしさ

ちゃぽとして、まるっとして、もこもこ。思わずなでたくなる。そして抱きしめたくなる！そんなかわいらしいキャラクターの植物が“コキア”です。

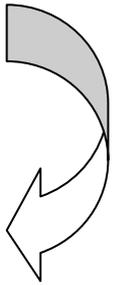
## 佇まいの変化

夏は柔らかなライムグリーン、秋は鮮やかな真紅、初秋に茶色く枯れる様は侘びさびを感じさせます。コキアはその佇まいの移り変わりも魅力の一つで、1シーズンで2度も3度もお楽しみいただけます。

## 色々な用途

コキアは和名を「ほうき草」といい、その名の通り枝や茎を乾燥させてほうきを作ることに由来しています。

種子は秋田の特産品の「とんぶり」の材料でもあります。



## トピックス コキアの管理裏話 ～土壌改良と除草～

今年は、6月下旬から7月上旬にかけて、20,000㎡、40,000株、日数にして17日間、延べ230人体制で「みはらしの丘」にコキアの植え付けを行いました。現在、秋に向けて生育中ですが、その管理には多くの苦勞があります。

この丘は茨城県の建設発生土を利用しているため、土壌の質があまりいいとは言えません。そこで、植物にとって最良の状態にするため、6月に花の終わったネモフィラを刈り取り、コキアを植えるまでのわずかな期間で、広大な面積の土壌改良を行います。

昨年は丘全体に土壌改良剤を撒いて耕運した後、そのまま苗を植え付けましたが、今年は万全を期すために、植え付ける穴一つ一つに肥料を入れ、苗を植栽しました。

また、みはらしの丘には日陰がありません。このため、高温多湿の時期は炎天下での“雑草との戦い”なり、秋まで毎日のように除草作業を行っています。

この手間を惜しまない管理が功を奏し、今年は昨年よりも一つ一つの株がより大きく育っており、公園スタッフ一同、秋に向けてもうひと踏ん張りの元気をもらっています。

日本の新たな“紅葉スポット”みはらしの丘のコキアをどうぞご期待ください。



一つ一つ穴を掘り土壌改良をしている風景  
平成20年7月10日撮影



コキアの管理作業風景  
平成20年7月26日撮影



平成 20 年 8 月 13 日撮影